

ミツカワ電機株式会社 環境経営レポート

2023年度

(対象期間 2022年10月～2023年9月)



目 次

1. 組織の概要,対象範囲	1頁
2. 実施体制	2頁
3. 環境経営方針.....	3頁
4. 環境経営目標.....	4頁
5環境経営計画.....	5頁
6. 環境経営目標の実績.....	6頁
7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取り組み内容.....	7頁
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	8頁
9. 代表者による全体評価と見直し・指示	9頁
10. 次年度の環境経営目標.....	10頁
11. 次年度の環境経営計画.....	11頁

2023年10月16日発行

1. 組織の概要,対象範囲

1. 1 組織の概要

1) 名称及び代表者名

ミツカワ電機株式会社

代表取締役社長 田中 健二

2) 所在地

本 社： 神奈川県川崎市多摩区菅6-11-11

3) 環境管理の責任者及び担当者連絡先

責任者 代表取締役社長 田中健二

TEL:044-944-5001

担当者 購買部 杉本恵子

TEL:044-944-5001

電子メール:k-sugimoto@ab.auone-net.jp

4) 事業活動内容

高圧トランスの製造

5) 事業の規模

	事業年度		2023年度	10月～9月
	単位	2021年10月～2022年9月	2022年10月～2023年9月	
売上高	万円	4,751	4,263	
従業員	人	5	5	
延べ床面積	m ²	179.58	179.58	

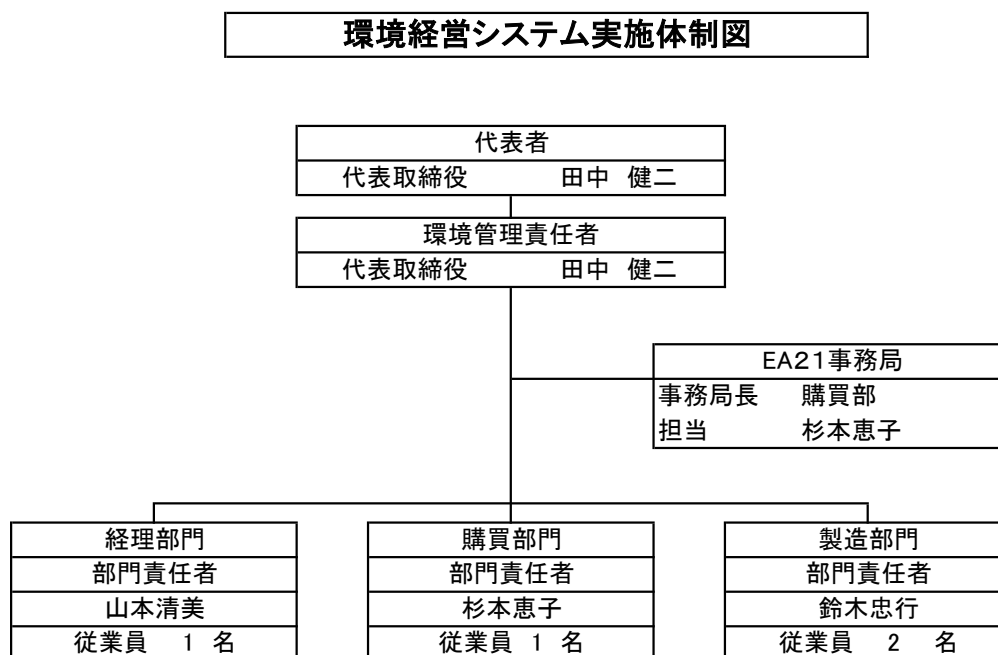
1. 2 対象範囲

1) 対象範囲 「1. 1 2)所在地」に記載

2) 活動範囲 「1. 1 4)事業活動内容」に記載

3) レポートの対象期間及び発行日 表紙に記載

2.実施体制図



役割、責任及び権限表	
対象者	役割、責任・権限
代表者	・経営における課題とチャンスを整理し、明確にする。 ・環境経営に関する方針(環境経営方針)を定め、誓約する。 ・効果的で必要十分な実施体制を構築し、役割、責任及び権限を定める。 ・環境経営に必要な資源(人・もの・資金・情報)の用意する。 ・環境経営全体の取組状況を評価し、総括的見直し、必要な指示を行う。
環境管理責任者	・環境経営目標、環境経営計画の作成・承認及び社内周知 ・全社組織へのEA21活動実施の統括 ・EA21活動結果全体のとりまとめ承認及び代表者への報告 ・内外環境コミュニケーションへの対応 ・問題点の是正処置の統括
EA21事務局	・環境管理責任者の補佐 ・EA21活動に関する事務
部門責任者	・環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画内容の部門内周知 ・部門内EA21活動の実施指揮及び部門内EA21活動結果のとりまとめ ・問題点の是正処置、予防処置の実施
従業員	・環境経営目標、環境経営計画等に基づくEA21活動の実施 ・EA21活動に関する提案

3.環境経営方針

環境経営方針

〔企業理念〕

ミツカワ電機株式会社は人間尊重を基本とする経営理念に則って関連する法令を遵守するとともに顧客第一に徹しお客様に満足していただける高品質で安全、かつ機能を先取りした商品及びサービスを提供し、社会に貢献することを目指す。

〔環境経営の指針〕

当社は、企業理念を踏まえ、経営と環境が融合した環境経営システムを基盤とすることにより製造業として環境負荷の少ない事業活動並びに環境に配慮した製品・サービスの提供に積極的に取組めます。

環境経営への取組みに当たっては、環境関連法規等を遵守し、以下の基本的方向に基づき全従業員参画により環境活動を実践すると共に環境経営の継続的改善を図ることを誓約します。

〔環境経営への取組の基本的方向〕

1. 二酸化炭素排出量の削減

- ① 生産設備及び照明設備の省エネ化により電気使用量の削減に努めます。
- ② エコドライブの徹底により車輛等の燃料使用量削減に努めます。
- ③ その他化石燃料使用量削減に努めます。

2. 廃棄物排出量の削減

- ① 事業所から発生する一般廃棄物の削減に努めます。
- ② 高圧トランスに係わる産業廃棄物の発生を抑制すると共に適正処理を行います。
- ③ 資源の有効利用とリサイクルを推進します。

3. 水使用量の削減

- ① 事業所内の水使用量の削減に努めます。

4. 化学物質使用量の削減(管理)

- ① 化学物質を使用する場合は、適切に使用量管理を行います。

5. 自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善

- ① 高圧トランス製品の環境性能の向上に努めます。
- ② 顧客に有益な省エネ型製品・設備の導入を提案します。
- ③ 環境配慮型製品販売の促進に努めます。
- ④ 高圧トランスサービス提供における質的向上に努めます。

この環境経営方針は、全従業員に周知すると共に、一般にも公開します。

制定:2021年4月1日

ミツカワ電機株式会社

代表取締役 田中 健二

4.環境経営目標

環 境 経 営 目 標

環境目標	単位	基準値(実績)	年度目標	中期目標	
		2021年度～2022年度 度平均値	2023年度 2022/10/1～ 2023/9/30	2024年度 2023/10/1～ 2024/9/30	2025年度 2024/10/1～ 2025/9/30
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	(排出量) 3,551	1%削減 3,515	2%削減 3,480	3%削減 3,444
1.1 電力使用量の削減	Kwh	(電力使用量) 4,036	1%削減 3,996	2%削減 3,955	3%削減 3,915
	kg-CO2	 1,865	 1,846	 1,828	 1,809
1.2 自動車燃料使用量の削減 『ガソリン』	L	(ガソリン使用量) 727	1%削減 720	2%削減 712	6%削減 705
	kg-CO2	 1,686	 1,669	 1,652	 1,635
2. 一般廃棄物排出量の削減	kg	(一廃排出量) 173	1%削減 171	2%削減 170	3%削減 168
3. 産業廃棄物 排出量の削減	kg	(産廃排出量) 201	1%削減 199	2%削減 197	3%削減 195
4. 水資源投入量の削減	m3	(水使用量) 116	1%削減 115	2%削減 114	3%削減 113
5. 化学物質の使用量の適正管理	kg	(化学物質使用量) 適正管理	 適正管理	 適正管理	 適正管理
6. 製品の品質向上 不良率の削減	%	製造不良率 3%	1%削減 2.97%	2%削減 2.94%	3%削減 2.91%

5.環境経営計画

環境経営計画/実施 2023年度

NO	環境経営 方針項目 など	環境経営 目標項目	目標達成手段	責任部門	スケジュール	
				責任者	2022年10月～2023年9月	
1	二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量の削減	① 電力、化石燃料の施策のすべて	製造部 田中	2020年10月から継続	計画通り実施
		電力使用量の削減	① 不使用箇所消灯	購買部 杉本	2019年10月から継続	計画通り実施
			② エアコン設定温度(夏28℃/冬21℃)		2019年10月から継続	計画通り実施
			③ 未使用機械の電源オフ		2020年10月から継続	計画通り実施
			④ 蛍光灯ブルスイッチ化に変更		2021年10月までに交換	計画通り実施
			⑤ エアコン室外機の日よけ活用		2020年10月から継続	計画通り実施
		化石燃料使用量の削減(ガソリン)	① エコドライブ10のすすめの徹底 (ふんわりスタート、車間距離にゆとりを、エアコンの使用は適切に、アイドリングストップ、タイヤの空気圧は適切に等)	製造部 田中	2020年10月から継続	計画通り実施
			② ガソリン車のフォークリフトをEV車に変更		2022年4月から実施	計画通り実施
			③ 公共機関の利用		2020年10月から継続	計画通り実施
			④ 事前にルートの確認		2020年10月から継続	計画通り実施
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	① シュレッダー排紙のリサイクル化の徹底	購買部 杉本	2020年10月から継続	計画通り実施
			② 廃棄物の分別管理の徹底(再資源化しやすくする。)		2020年10月から継続	計画通り実施
			③ 裏紙使用の徹底		2020年10月から継続	計画通り実施
			④ 無駄なプリントアウトの禁止		2020年10月から継続	計画通り実施
		産業廃棄物排出量の削減	① 産業廃棄物分別の徹底	製造部 田中	2020年10月から継続	計画通り実施
			② 不良品の削減		2020年10月から継続	計画通り実施
3	水使用量の削減		① すべてにおいて節水を心がける(節水の周知徹底)	購買部 杉本	2020年10月から継続	計画通り実施
			② 節水表示をする。		2020年10月から継続	計画通り実施
4	化学物質の使用量の適正管理		① 適正管理の徹底	製造部 田中	2020年10月から継続	計画通り実施
5	製品の品質向上不良率の削減		① 出荷前検査	製造部 田中	2019年10月から実施	計画通り実施
			② 治具を使用しての製作	田中	2019年10月から実施	計画通り実施

6. 環境経営目標の実績

2022年10月～2023年9月

環境経営目標の実績 2023年度

No	環境経営 方針項目	環境経営 目標項目	平均値(実績値)		CO2 換算係数	運用期間(2022年10月～2023年9月)1年間		
			2021年度～2022年度			目 標	実 績	評 価
1	二酸化 炭素排 出量の 削減	CO ₂ 総量計 (kg-CO ₂)	3,551 kg-CO ₂ ／年			3,515 kg-CO ₂ ／1年	3,435 kg-CO ₂ ／1年	○
1.1		1)電力使用 量の削減	電力使用量 4,036 kWh／年		0.462 (JXTG)	基準値に対し 1 %削減 3,996 kWh／1年	3,764 kWh／1年	○
1.2		2)化石燃料 使用量の 削減	ガソリン			基準値に対し 1 %削減		
			727 L／年		2.322	720 L／1年	731 L／1年	△
2		廃棄物 排出量 の削減	1)廃棄物 排出量 の削減	廃棄物排出量			基準値に対し 1 %削減	
173 kg／年					171 kg／1年	128 kg／1年	○	
3	2)産業廃棄物の 削減 (屑鉄類) (有価物)		産業廃棄物			基準値に対し 1 %削減		
			201 kg／年			199 kg／1年	140 kg／1年	○
4	水使用量の削減		水道使用量			基準値に対し 1 %削減		
			116 m ³ ／年			115 m ³ ／1年	89.0 m ³ ／1年	○
5	化学物質の使用量の適正管理		適正管理	適正管理		適正管理	適正管理	○
6	製品の品質向上 不良率の削減		製造不良率			基準値に対し 1 %削減		
			3 ％／年			2.97 ％／年	0.0 ％／年	○

※二酸化炭素排出係数はJXTG調整後排出係数0.462kg-CO₂/kWhを適用した。

※環境経営目標項目は実績が目標値以下で達成「○」、+5%未満でほぼ達成「△」、+5%以上で未達成「×」と評価する。

※トランスに使う廃油は自社で取り扱いしていない為記入していません。

※資源ごみ(段ボール・雑誌類)は自社で対応できない為記入していません。一般ごみも袋対応の為改善策に入れていません。

7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取り組み内容

NO	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	目標達成手段	取組	
				結果・評価	次年度の内容
1	二酸化炭素排出量の削減	1) 電力使用量の削減	①不使用箇所消灯 ②エアコン設定温度(夏27℃/冬22℃) ③未使用機械の電源オフ ④蛍光灯ブルスイッチ化 ⑤エアコン室外機の日よけ設置 ⑥リフトの電気使用量を確認	蛍光灯のブルスイッチ化は電気業者に見積り依頼 エアコンの室外機の日よけは夏場前に設置	次年度も継続
		化石燃料使用料の削減(ガソリン)	①エコドライブ10のすすめ徹底 (ふんわりスタート、車間距離にゆとりを、エアコンの使用は適切にアイドリングストップ、タイヤの空気圧適正等) ②公共機関の利用 ③事前にルート確認	①～③を心掛けて運転しています。	次年度も継続
2	廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量の削減	①シュレッター排紙のリサイクル化の徹底 ②廃棄物の分別管理の徹底 (再資源化しやすくする) ③裏紙しよの徹底 ④無駄なプリントアウトの禁止	①④共に意識が向上しています。	次年度も継続
3		産業廃棄物排出量の削減	①産業廃棄物分別の徹底 ②不良品の削減	特に問題ないです。	次年度も継続
4	水使用量の削減		①全てにおいて節水を心がける (節水の周知徹底) ②節水表示をする。	特に問題ないです。	次年度も継続
5	化学物質の使用量の適正管理		①適正管理の徹底	特に問題ないです。	次年度も継続
6	製品の品質向上 不良率の削減		①出荷前検査の強化 ②治具を使用しての製作	特に問題ないです。	次年度も継続

8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

区分	環境関連法規等名称	遵守状況の確認・評価	
		チェック日	結果
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)(一般廃棄物の処理)	2023.8.20	○
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)(産業廃棄物の適正処	2023.8.20	○
資源循環 (リサイクル)	特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	2023.8.20	○
	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律(小型家電リサイク	2023.8.20	○
	使用済自動車の再資源化等に関する法律(自動車リサイクル法)	2023.8.20	○
大気汚染	フロン排出抑制法:フロン類回収の廃棄の遵守(引き渡し証明書)を廃棄後3年間保管	2023.8.20	○
騒音	騒音の規制基準一覧(川崎市)	2023.8.20	○
環境	キャノン調達基準に遵守する	2023.8.20	○

当社に關係する環境関連法規等は上記の通りですが、遵守状況を2023年8月20日に確認した結果、違反はありませんでした。また、関連機関からの違反等の指摘、環境関連の訴訟も過去3年間ありません。なお、外部からの苦情は活動期間中にはありませんでした。

9.代表者による全体の評価と見直し結果報告書

見直し実施日	2023年10月30日 (☒ 定期見直し ☐ 臨時見直し)		
見直し対象期間	2022年 10月 1日 ~ 2023年 9月 30日		
出席者	杉本・田中		場所 本社 3F 打ち合わせ室
前回の見直し記録より指示への取組結果	要求事項の解説の中に、課題とチャンスは事業の内容、事業を取り巻く状況、事業と環境とのかわりによって変化するために定期的に見直すとともに必要に応じて随時見直すように指摘を受けました。現在見直した結果現状維持で遂行。		
見直しに必要な情報	①環境関連法規の遵守状況(環境関連法規等取りまとめ表兼遵守確認評価表による) ②環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況、その評価結果(環境経営計画兼実績書による) ③適用範囲、実施体制 ④問題点の是正処置及び予防処置の結果(是正／予防処置報告書による) ⑤外部からの環境に関する苦情等の受付結果(外部コミュニケーション記録による) ⑥その他(法規制の動向や取引先からの「グリーン調達」の情報等)		
代表者による評価 経営的観点	【環境経営システムが有効に機能しているか】(①、③、④、⑤等を踏まえて評価)		
	運用を始めてから1年程で有効に機能していると実感。エコアクションの認証取得してから従業員のエコに対する『意識』は変わりました。		
	【環境経営への取組が適切に実施されているか】(②等を踏まえて評価)		
	目標項目	目標達成状況	経営計画実施状況
	二酸化炭素排出の削減	○	○
	廃棄物排出量の削減	○	○
	水使用量の削減	○	○
	化学物質使用量の削減	○	○
不良率の削減	○	○	
代表者による見直し 変更の必要性の有無・変更に必要な具体的指示事項	【環境経営方針】 変更の必要性 : ☐ 有 ☒ 無		
	現在の環境経営方針を維持する。		
	【環境経営目標及び環境経営計画】 変更の必要性 : ☐ 有 ☒ 無		
	現在の環境経営目標及び環境経営計画を維持する		
	【実施体制】 変更の必要性 : ☐ 有 ☒ 無		
	現在の実施体制を維持する。		
	【環境経営システム】 変更の必要性 : ☐ 有 ☒ 無		
	現在の環境経営システムを維持する。		
【総括】(環境活動レポートに転記)			
当社は環境に係わる認証取得をして4年目。違った角度から会社が見えて運用期間が4年となると電気使用量が徐々に削減されてるのがわかった。但し今回お客様のところへの訪問が増えたため化石燃料使用量が未達だった。今後も、エコアクション21事務局・部門管理者が中心となって従業員の意見・提案を積極的に取り入れて改善していきます。			

注)①定期的(少なくとも毎年1回)に実施すること。登録審査の場合は、臨時に行うこと。

②事業年度が終了したら、速やかに終了事業年度(登録審査の場合は登録の運用期間)の見直しをすること。

③事業内容の変更や重大な事故・不適合が生じた場合等の時は、臨時の見直しをすること。

10.環境経営目標

環境経営目標 2024年度

環境目標	単位	基準(実績)	年度目標	中期目標	
		2021年度～ 2022年度 平均実績値	2024年度 2022/10/1～2023/9/30	2025年度 2023/10/1～ 2024/9/30	2026年度 2024/10/1～ 2025/9/30
1. 二酸化炭素排出量の削減		(排出量)	2%削減	3%削減	4%削減
	kg-CO2	3,551	3,480	3,444	3,409
1.1 電力使用量の削減	Kwh	(電力使用量) 4,036	2%削減 3,955	3%削減 3,915	4%削減 3,875
	kg-CO2	1,865	1,828	1,809	1,790
1.2 自動車燃料使用量の削減 『ガソリン』	L	(ガソリン使用量) 727	2%削減 712	3%削減 705	4%削減 698
	kg-CO2	1,686	1,652	1,635	1,619
2. 一般廃棄物排出量の削減	kg	(一廃排出量) 173	2%削減 170	3%削減 168	4%削減 166
3. 産業廃棄物排出量の削減	kg	(産廃排出量) 201	2%削減 197	3%削減 195	4%削減 193
4. 水資源投入量の削減	m3	(水使用量) 116	2%削減 114	3%削減 113	4%削減 111
5. 化学物質の使用量の適正管理	kg	(化学物質使用量) 適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
6. 製品の品質向上 不良率の削減	%	製造不良率 3	2%削減 2.94	3%削減 2.91	4%削減 2.88

※購入電力のCO₂排出係数:JKTG調整後排出係数0.462kg-CO₂/kWh使用

※実際に使ってみて2024年度は見直します。

11.環境経営計画

環境経営計画 2024年度

No	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	目標達成手段	責任部門 責任者	スケジュール
					2023年10月～2024年9月
1	二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量の削減	①電力、化石燃料の施策のすべて	製造部 田中	2020年10月から継続
		電力使用量の削減	①不使用箇所消灯 ②エアコン設定温度(夏28℃/冬21℃) ③未使用機械の電源オフ ④蛍光灯プルスイッチ化に変更 ⑤エアコン室外機の日よけ活用 ⑥二階事務所LED照明へ変更	経理部 杉本	2019年10月から継続 2019年10月から継続 2020年10月から継続 2021年10月から継続 2020年10月から継続 2024年10月までに交換
		化石燃料使用量の削減(ガソリン)	①エコドライブ10のすすめの徹底 (ふんわりスタート、車間距離にゆとりを、エアコンの使用は適切に、アイドリングストップ、タイヤの空気圧は適切に等) ②公共機関の利用 ③事前にルートの確認	製造部 田中	2020年10月から継続 2020年10月から継続 2020年10月から継続
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	①シュレッター排紙のリサイクル化の徹底 ②廃棄物の分別管理の徹底(再資源化し くする。) ③裏紙使用の徹底 ④無駄なプリントアウトの禁止	経理部 杉本	2020年10月から継続 2020年10月から継続 2020年10月から継続 2020年10月から継続
		産業廃棄物排出量の削減	①産業廃棄物分別の徹底 ②不良品の削減	製造部 田中	2020年10月から継続 2020年10月から継続
3	水使用量の削減		①すべてにおいて節水を心がける(節水の周知徹底) ②節水表示をする。	購買部 杉本	2020年10月から継続 2020年10月から継続
4	化学物質の使用量の適正管理		①適正管理の徹底	製造部 田中	2020年10月から継続
5	製品の品質向上 不良率の削減		①出荷前検査 ②治具を使用しての製作	製造部 田中	2019年10月から実施 2019年10月から実施